

いっしょにあそぼうねの会をひらこう	(3) 幼稚園・保育園との連携・交流
小学校	千葉市立真砂東小学校
<b>&lt;実施時期&gt;</b>	11月～12月
<b>&lt;幼児期の終わりまでに育って欲しい姿に繋がる部分&gt;</b>	
「協調性」「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」「言葉による伝え合い」	
<b>&lt;活動のきっかけ&gt;</b>	
・入学前にやってもらったから、自分たちも遊んだり紹介したりしたい、幼稚園・保育園の友達に小学校のことを教えてあげたい、「あきとあそぼう」の学習を生かし、幼稚園・保育園の友達に楽しんでもらえるような会を開きたいという思いが高まっていった。	
<b>&lt;活動のねらい&gt;</b>	
・園児と児童の交流を通して、園児は小学校での活動を体験して小学校生活への関心をもち、児童は年少児に接する体験をする。	
<b>&lt;経験する内容&gt;</b>	
<b>園児</b>	・小学校での学習活動に興味をもつ。ルールを理解してなかよく遊ぶ。
<b>児童</b>	・生活科の学習「あきとあそぼう」の学習をいかして、園児が楽しめるような会を考えて開く。 ・年少者へ接する体験をし、入学後の関係づくりに生かすようにする。
<b>&lt;新型コロナウイルス感染症に対する活動の工夫&gt;</b>	
・例年通りの手をつないでの校舎案内や、1年生の教室に入ってもらって行う「1年生体験」が難しいため、体育館で密にならずに出来る会を考えて実施する。 ・マスク着用や入口での手指の消毒が可能か事前に確認し、密にならないで活動できるようあらかじめ少人数のグループ分けをお願いした。	
<b>&lt;活動の内容&gt;</b>	
<p>・「はじめましての会」「あきのおまつり」「おわりの会」の3つの構成とした。司会なども児童が行うようにした。</p> <p>・「はじめましての会」では、歓迎の言葉、ダンスの発表（スポーツフェスティバルで発表したもの）、クイズタイム、1年生からのお知らせなどを行った。クイズタイムでは、学校に関するクイズを三択や○×で答えられるように考えた。楽しみながら学校生活の一部を知ることができるように工夫をした。</p> <p>・「あきのおまつり」では、11月に生活科で学習した秋の素材をいかした遊びをワークショップ形式で行った。</p> <p>・「おわりの会」では、園児から感想を伝えてもらう時間を設けた。</p>	



<p>＜活動でみられた子どもの姿＞</p>	<p>＜環境構成・教材や保育者の援助等＞</p>
<p><b>児童</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園児に楽しんでもらいたいという思いがどの児童にもあり、自分たちで準備について考え、毎時間意欲的に活動を進めていくことができた。各グループで学級・学年リハーサルの反省点を本番につなげることができた。</li> <li>・事前に招待状を作成していたこともあり、園児に会う前から、目的意識をもって、「あきのおまつり」の準備を進めることができた。</li> <li>・ダンスの発表はスポーツフェスティバルで披露したダンスなので、練習時間もさほどかからず、自信をもって踊ることができた。</li> <li>・クイズタイムのクイズは、どのような問題が園児に分かりやすく、楽しんでもらえるかをグループやクラスで話し合うことで、工夫をすることができた。問題の読みあげ方や盛り上がるような間の取り方なども考えて行う体験をすることができた。</li> </ul> <p><b>園児</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はじめましての会」では、児童の言葉にじっと耳を傾け、真剣にダンスを見たりクイズに楽しんで参加したりしていた。</li> <li>・「あきのおまつり」では、あらかじめ決められていたグループで、なかよく楽しくワークショップをまわる姿が見られた。</li> <li>・招待状やお土産のどんぐりネックレスを喜んでいた。</li> </ul>	<p><b>児童</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会を成功させるために必要なことは何かを、学習の始めに話し合い、学習全体の流れをつかませ、見通しをもたせるようにした。毎時間のめあての確認と振り返りも行うようにした。</li> <li>・グループ学習がうまく進まないグループには支援を多く行うようにし、自信をもたせるようにした。</li> <li>・事前に園児への招待状を書かせることで、自分たちのお店屋さん（ワークショップ）が何を楽しんでほしいのかを児童に明確にさせ、園児にも期待感をもってもらうようにした。</li> <li>・クイズは国語の学習との合科で進めるようにし、クイズ作成においては相手意識、目的意識を育てるようにした。学級での練習の時間も多くとり、みんなでアドバイスをしながら高めていけるようにした。</li> </ul> <p><b>園児</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に各園を小学校職員がまわり、実施計画書を渡しながら説明とお願いを伝えるようにしたため、スムーズに園児たちが動く姿につながった。</li> <li>・「おわりの会」の園児からの感想タイムでは、あらかじめ言う園児を決めてもらっていたが、園職員が寄り添うことで、自信をもって上手に感想を伝える姿が見られた。</li> </ul>
<p>＜成果と今後の課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学年しか変わらないとはいえ、年少者のことを考えて接したり、準備などを進めたりすることで得た体験は、他の行事では得られないような児童の達成感につながった。3月の教室での入学式準備でも園児のことを考えながら準備を進める姿が見られた。園児たちも楽しく活動に参加し、小学校を身近に感じることもできたようである。コロナ対策では園に協力していただいて無事に終わったが、今後は状況に応じて交流の仕方を工夫していく必要がある。</li> </ul>	
<p>＜カリキュラムコーディネーターのコメント＞</p> <p>園児との交流活動の実施に際して、1年生が招待状を送る、目的意識を明確にしてから実施する、園児に感想を求めるなど、園児を意識した活動になっています。相手意識を持った双方向的な活動に取り組むことによって、より深い理解につながり、園児にとっても意義のある活動になったと思います。</p>	